

# 令和7年 火災概況

令和7年中における当消防本部管内の火災発生件数は、20件となっており、建物火災10件、車両火災5件、その他の火災5件となっています。

町別では、遠軽町で15件、湧別町で3件、佐呂間町で2件の火災が発生しています。

火災損害状況については、建物焼損床面積1,262㎡、車両焼損台数6台で、損害額は38,784千円の大変貴重な財産が失われ、また、火災による死者は0人で、負傷者は2人となっています。

用途別では、建物火災のうち住宅火災が最も多く3件発生し、次いで倉庫火災が2件となっています。また、ごみ収集車による車両火災が2件発生し、近年増加傾向にあります。

原因別でみると、ごみの不適切な処理・分別による火災が6件発生し、出火件数の約3割を占めています。ごみによる火災は人為的なものであり、一人ひとりの防火意識を高めることが大切です。

当消防本部管内では、全ての住宅に住宅用火災警報器の設置が義務化され15年以上が経過し、交換目安時期を超えた機器が多く存在しています。設置状況アンケートの結果から、3割の世帯で交換がされていないことが確認されています。全国において住宅火災による死者の半数が「逃げ遅れ」であり、総務省消防庁の分析では設置されていない場合に比べ、死者数と損害額は半減、建物焼損床面積は約6割減となりました。大切な家族の命を住宅火災から守るためにも、住宅用火災警報器を設置し適切な維持管理を行う必要があります。

消防機関といたしましては、火災を未然に防ぐ取組や、住民への啓発活動を一層推進するとともに、災害に強い地域社会の実現に向け、引き続き万全を期していきます。

近年の火災発生状況（令和5年～令和7年）

年別	出火件数							焼損状況				損害額 (千円)	死者	負傷者	焼損棟数	り災世帯数	り災人員数	
	建物			林野	車両	その他	合計	床面積 (㎡)	表面積 (㎡)	林野 (a)	車両 (台)							
	全焼	半焼	部分焼															
組合管内	R7	2	3	5		5	5	20	1,262			6	38,784		2	11	4	7
	R6	2	2	1	5		2	7	1,173	31		2	31,028	1	3	15	4	9
	R5	3		2	5		5	8	246	21		7	10,020	1	3	12	8	8

## 身近にある火災原因

### 放火・放火疑い

家の周りに置かれた不用品やごみステーションなどに放火される火災が全国各地で発生しています。普段から放火されない環境作りを行いましょう！



### たばこ



たばこの小さな火種は、小さな火でもくすぶり続け、数時間経過してから燃え上がることがあります。たばこの始末は喫煙者のマナーです！

### コンロ

鍋を火にかけていることを忘れてしまい、気づいたころには鍋から炎が上がり、火災に至るケースが特に多いです。火のついたコンロから離れるときはしっかり火を消しましょう！



### 配線器具

電気配線のショートやトラッキングによりコンセントから出火することがあります。定期的に清掃を行いましょう！



### 火遊び



ライターやマッチは子どもの手の届かないところで保管しましょう！小さな子は好奇心旺盛なので特に注意しなければなりません！

### ストーブ

ストーブの周りに燃えやすいものは置いていませんか？また、適切に使用できていますか？ストーブから火災に至るケースは毎年のように発生しています！ご自宅のストーブを今一度、点検しましょう！

